

## 5日間のタイムテーブル

会場	コンテンツ	27日(土)	28日(日)	29日(月)	30日(火)	31日(水)
1階 オープンスクエア	<b>A</b> 共に学び、生きる 共生社会コンファレンス 東北ブロック	[第1部] 10:00~12:30 ①体験の共有 10:15~11:30 ②考えるテーブル 11:30~12:30  [第2部] 13:30~16:00 ①②おはなし 13:40~14:40 ③ディスカッション 14:50~15:30				
	<b>B</b> 障害のある人とつくる パフォーマンスアート 研究会		14:00~16:00			
	<b>C</b> ワークショップ・体験		①10:00~11:00 ②13:00~14:00			
	<b>D</b> Art for Well-being 表現とケアと テクノロジーのこれから				10:00~18:00 トークイベント 14:00~16:00	
	<b>E</b> 障害と芸術文化 のブース				10:00~18:00	
	<b>F</b> ニューカマーセブン		ギャラリートーク 11:00~12:00		10:00~18:00	
	<b>G</b> ひだまりのギフト展				10:00~18:00	
2階 カリアフリー	<b>H</b> としょかん・ メディアテークによる バリアフリー資料展示		9:30~18:00	休館日	9:30~20:00	
	<b>I</b> 手ではなす おはなしの会 ②、③	②11:30~12:00 (受付11:15~) ③13:30~14:00 (受付13:15~)				
7階 スタジオa	<b>I</b> 手ではなす おはなしの会 ②、③	②11:30~12:00 (受付11:15~) ③13:30~14:00 (受付13:15~)				

## 27日(土)

### I 手ではなすおはなしの会

参加無料 先着20人 直接会場へ

[時間] ①10:30~11:00 (受付10:15~) ②11:30~12:00 (受付11:15~)  
③13:30~14:00 (受付13:15~)

[会場] ①1階オープンスクエア ②、③7階スタジオa

[対象] 幼児~小学校低学年

#### 手話による絵本の世界へようこそ!

「手ではなすおはなしの会」は、聞こえない・聞こえにくい子どもたちに絵本の世界を楽しんでほしいという思いから始まった、手話によるおはなし会です。ボランティアグループ「まほうの手」が、絵本の読み聞かせや手話を使った遊びを行います。聞こえる子も参加できます。一緒に手話による絵本の世界を楽しみませんか?

主催：仙台市民図書館、せんだいメディアテーク（公益財団法人仙台市民文化事業団）



### 申込方法

「要申込」のプログラム **A B D** については、WEBサイト内の申込フォーム、または下記の必要事項をご記入の上、郵送・電話・FAX・メールにてお申し込みください。定員になり次第、締め切らせていただきます。定員を超えてご希望に添えない場合のみ、ご連絡いたします。

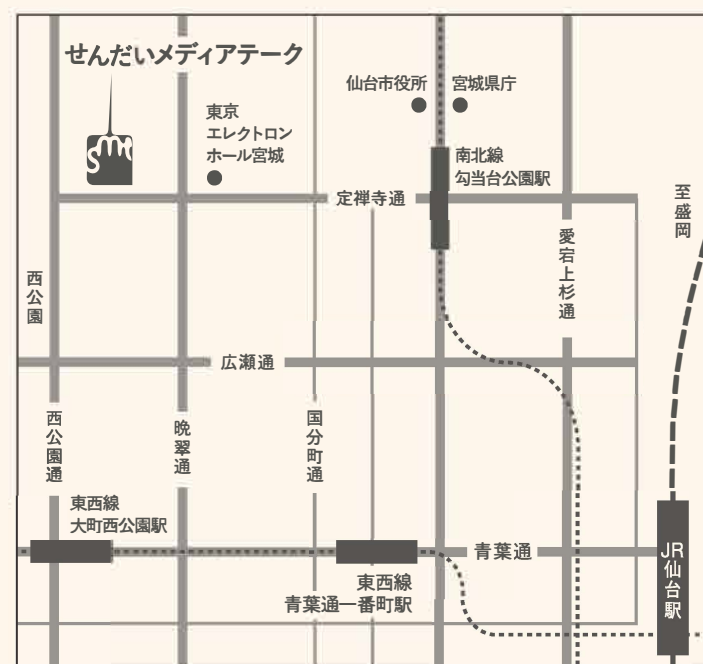
- 必要事項
- 参加希望のプログラム
  - お名前(ふりがな)
  - 所属・活動
  - 連絡先(居住市町村名、電話番号・FAX・Email)
  - 同伴者の有無、必要な配慮など

申込フォームはこちら



### 会場 せんだいメディアテーク

〒980-0821 宮城県仙台市青葉区春日町2-1



#### 交通案内

##### 【徒歩の場合】

○仙台駅より約20分

##### 【地下鉄の場合】

○南北線勾当台公園駅下車、  
「公園2」出口から徒歩6分(約450メートル)

○東西線大町西公園駅下車、  
「東1」出口または「西1」出口から徒歩13分

○東西線青葉通一番町駅下車、  
「北1」出口から徒歩15分

##### 【バスの場合】

○仙台市営バス仙台駅前60番  
(仙台TRビル前・地下鉄仙台駅「中央2」出口前)のりばから  
「定禅寺通市役所前」経由で交通局大学病院」行きで約10分、  
メディアテーク前下車

##### 【駐車場】

せんだいメディアテークのWEBサイトをご覧ください。  
→ <https://www.smt.jp/smt/facilities/service>

#### 【お問い合わせ】

特定非営利活動法人エイブル・アート・ジャパン東北事務局

〒980-8546 仙台市青葉区一番町3-11-15 仙台フォーラス7階

【TEL】070-5328-4208 【Email】[soup@ableart.org](mailto:soup@ableart.org)

【FAX】022-774-1576 【WEB】<http://soup.ableart.org>

WEBサイトは  
こちらから



この用紙はリサイクルできます



第6回  
障害のある人と  
芸術文化活動に関する大見本市  
障害のある人の芸術文化活動を  
大きく、みる、しる5日間

きいて、  
みて、  
しって、  
見本市。

2024年  
1月27日(土)~31日(水)  
10時~18時  
会場 せんだいメディアテーク  
1階オープンスクエア他  
入場無料

さあ、見本市でたくさんの人・モノ・ことに出あいませんか。「障害のある人と芸術文化活動」に関する多様な個人・団体・活動を紹介するこの見本市。表現する人たちの様子を知りたい、芸術文化活動の機会や場を探している、活動の相談先を探しているなど、次の一歩を踏み出すヒントとして、各プログラムをお楽しみいただき、新たな出あいの場となれば幸いです。



全席自由



筆談ボードあり



車椅子可



多目的トイレあり



プログラム開催中の入退場可



声を出してもOK



補助犬OK



ゆずりあい駐車場あり

### A 共に学び、生きる共生社会コンファレンス東北ブロック 生きる、語る、学ぶ ～障害のある人とない人がともに

【時間】10:00～16:00 【会場】1階オープンスクエア **参加無料 要申込**  
【対象】すべての人、障害のある人と家族・支援者、福祉事業所の人、特別支援学校・学級の人、市民センターなどで社会教育に関わる人 など

私たちは、「障害のある人もない人も共に学ぶ場」を広げようと、仙台を中心に活動を続けています。私たちの「共に学ぶ場」づくりは、まずは、学びたい本人が好きなことや知りたいこと、やってみたくを自由に語り合える場をつくることから始まります。その「語り」から、障害のある人を取り巻く制度の弱さ、条件の厳しさ、ときには差別や偏見などから、学びが制限されてきたことに気付かされることもありました。そうした障害のある人たちの「語り」は、どのような学びの場をつくり、周囲の人と関係を紡いできたのでしょうか。第一部では、この、「共に学ぶ場」の一端に直接に接していただけます。どのような方法であれば障害のある人たちと学びを共にできるのか、そこでは何が学べ、どのようなことに気づけるのか、体感していただけます。ところで私たちの社会では、いつのまにか障害のある人と障害のない人が分離されてしまっているのではないのでしょうか。その中で私たちは、障害のある人が身近に存在しているということや、その人たちが真摯に学びを求めているという、あたりまえの事実が気づけずいます。一方でこの仙台には、その学ぼうとする意志に応えていける社会をめざす地道な、時には大胆に仕掛けられた取り組みが少なからずあります。第二部では、そうした行動と思考に触れるとともに、かつて「障害」者解放運動が取り組まれていた時代に、障害のある人の生と運動を支える生き方を選んできた「青年たち」の証言にも学びながら、「共に生きる」社会にむけての道の拓き方を考えあいます。

**第1部** 【時間】10:00～12:30 【定員】約50人

#### ① 体験の共有「おためし！活動体験会 ～障害のある人とつくるまなび」

2グループに分かれて、障害のある人と一緒に取り組むまなびのプログラムを体験します。

**グループI** 前半「手ではなすおはなしの会」の見学 / 後半「身体と表現」  
>>>聞こえない人・聞こえにくい人による活動や、言葉によらず身体を使ったワークを体験します。

**グループII** 「てつがくカフェ」  
>>>障害のある人もない人も語り合う場を体験します。

#### ② 考えるテーブル「仙台市での共に学ぶ場づくり」

障害のある人もない人も共に学ぶ過程や、その間、どのように関係を積み重ねていくかについて、スウブノアカデミアに関わった立場の違う3人の語りを聞きながら、一緒に考えあいます。

登壇 橋本勇人(仙台市生涯学習支援センター社会教育主事・スウブノアカデミアボランティア)  
佐竹真紀子(美術作家/一般社団法人NOOK・スウブノアカデミアコーディネータ)  
スウブノアカデミア参加者  
ききて 佐藤朋子(仙台市社会学級研究会)

**第2部** 【時間】13:30～16:00 【定員】約50人 【ききて】石井山竜平(東北大学)

話題提供「障害者の生涯学習施策」石橋裕子(文部科学省障害者学習支援推進室)

#### ① おはなし「仙台の障害当事者による活動と運動のこれまで」

▶ 障害のある人との共生社会をめざす「とっておきの音楽祭」  
高橋Q清博(オフィスQ代表/お祭りプロデューサー)  
▶ 障害のある人が地域であたりまえに生活していく  
及川智(みやぎアリアル大行動実行委員会事務局長)

#### ② おはなし「ある『障害』者解放運動を通じた若者たちの学び」

かつて、関西を中心に障害者運動をリードしてきた森修さん(1949～2016)と、学生時代から森さんを支えてきた介護者たちの語りを聞き取ってきた林美輝さん。森さんから介護者らは何を学んだのか。「語り」(ナラティブ)という観点から、生きること、語ること、学ぶことについて考えます。  
登壇 林美輝(龍谷大学)

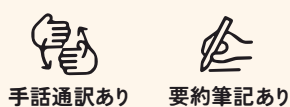
#### ③ ディスカッション「これからの仙台における語りからはじまる学び」

これまでの活動から、現在に続く新しい運動のありかたや語りからはじまる学びについて考え合います。  
登壇 林美輝、高橋Q清博、及川智、石井山竜平、高橋梨佳

終りに 感想とおもいの共有時間

【全体進行】高橋梨佳(NPO法人エイブル・アート・ジャパン)

主催：特定非営利活動法人エイブル・アート・ジャパン、文部科学省 共催：仙台市教育委員会、せんだいメディアテーク(公益財団法人仙台市市民文化事業団)  
後援：宮城県教育委員会 協力：一般社団法人NOOK 文部科学省委託事業 令和5年度「学校卒業後における障害者の学びの支援推進事業」



手話通訳あり 要約筆記あり



#### コンファレンスの背景

障害のある人の学校卒業後の学びの場が充実していないことが課題とされ、文部科学省では、平成30(2018)年から障害のある人の生涯にわたる学びや文化芸術、スポーツに関する活動の支援を政策的に打ち出しています。

#### スウブノアカデミアとは

障害のある人の「学びの場」を考えるプロジェクトです。学びたい本人が「好きなこと」「やってみたく」からワークショップや講座などのプログラムを企画、運営しています。



#### 録画配信

当日の様子は、後日オンラインで配信予定です。日程が決まり次第、SOUPのWEBサイトにてお知らせします。

#### 関連イベント情報

令和5年度共に学び、生きる共生社会コンファレンスinみやぎ 障害者の生涯学習に関わるワークショップ・ポスターセッション・展示発表、パネルディスカッション「共生社会について考える～地域の中で共に学び、共に体験し、関わり合っていくために～」などを通して、障害者の生涯学習を様々な角度から考えます。

【日時】1月31日(水)  
10:00～16:00

【会場】リフノス(宮城郡利府町森郷新権ノ木前31-1)

主催：宮城県教育委員会 文部科学省

### B 障害のある人とつくるパフォーミングアーツ研究会

【時間】14:00～16:00 【定員】40人 【会場】1階オープンスクエア **参加無料 要申込**  
宮城県内でも、障害のある人とつくる音楽・演劇・ダンス・人形劇などの活動が多様化しつつあります。実践者による報告を通して活動の現在地を知り、今後の展望について語り合う研究会を開催します。

#### テーマ1 障害のある人とつくることで広がる表現

報告 渋谷裕子(さぐる・おどる企画)  
工藤夏海(美術家、人形劇団ボンコレラ、でもトラ!)・高橋梨佳(NPO法人エイブル・アート・ジャパン)

#### テーマ2 人材育成や環境形成の視点から

対談 及川多香子(NPO法人アートワークショップすんぷちよ)×菊地将晃(特定非営利活動法人明日のたね)  
コメンテーター 伊地知裕子(クリエイティブ・アート実行委員会プロデューサー)  
進行 柴崎由美子(NPO法人エイブル・アート・ジャパン)

令和5年度「宮城県障害者芸術文化活動支援業務(運営：特定非営利活動法人エイブル・アート・ジャパン)」  
令和5年度厚生労働省障害者芸術文化活動普及支援事業

### C ワークショップ・体験

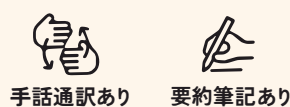
【時間】①10:00～11:00 ②13:00～14:00 【定員】各25人 【会場】1階オープンスクエア **参加無料 申込不要 直接会場へ**

#### 「まごっこみる!? ニューカマーとカラーージュ」

ニューカマーセブンの出展作品のなかにある独創的なパーツ(部品)を組み合わせると、どんなものができかな? 一風かわった生き物や植物、なんでもOK。子どもから大人まで、だれでも参加できます。

ファシリテーター 佐竹真紀子、しょうじこずえ(アトリエつくるて)

共催：みやぎ県民文化創造の祭典実行委員会



手話通訳あり 要約筆記あり



### E 障害と芸術文化のブース

【時間】10:00～18:00 【会場】1階オープンスクエア

障害者芸術活動支援センター@宮城(愛称:SOUP)は、障害のある人と文化芸術をつなぐ中間支援のセンターとして活動しています。今回の見本市では、「新設!宮城の福祉アトリエ」「デジタルアート最前線」「生涯学習と芸術文化」をテーマにしたコンテンツを紹介します。

#### 新設!宮城の福祉アトリエ

アトリエ北斗七星(仙台市)、くりこま「ゆめ工房」(栗原市)、たけのこ(岩沼市)、はるのひ文庫(仙台市)、のぞみ福祉作業所(南三陸町)、Wonder Workers(仙台市)他

#### デジタルアート最前線

imukat Lab.(仙台市)、サブカルビジネスセンター仙台(仙台市)、ソーシャルビレッジ仙台(多賀城市)、manabyCREATORS仙台(仙台市/名取市)他

#### 生涯学習と芸術文化

せんだいまなびやネットワーク事業(仙台市)、お金の学習会、きおっちょら、スウブノアカデミア、ミンナシテマザール、学びを通じたみやぎの共生社会推進事業(宮城県)他

令和5年度「宮城県障害者芸術文化活動支援業務(運営：特定非営利活動法人エイブル・アート・ジャパン)」



清宮玲《友達が沢山で嬉しかった NO.3》2023

### D Art for Well-being 表現とケアとテクノロジーのこれから

**参加無料 申込不要(展示) 直接会場へ**

【時間】10:00～18:00 【会場】1階オープンスクエア

病気や事故、加齢、障害の重度化など心身の状態がどのように変化しても、さまざまな道具、技法、新しい技術とともに、自由に創作をはじめることや、表現を継続できる方法を探っている活動を紹介します。

- ▶ VRアプリ「CAST」体験
- ▶ 3Dプリンターを活用した自助具
- ▶ 自発的な意思表示を促すコミュニケーションツール 他

#### トークイベント

アートとウェルビーイング ～表現すること、生きること。～ **参加無料 申込不要(イベント)**

【日時】1月30日(火)14:00～16:00

現代はたくさんの技法やテクノロジーが生み出され、表現する、表現に触れる、表現しあう、表現を残す、表現を設計する…など、表現の選択肢がひろがり、ひいては生きかたの可能性をひろげています。そこで、表現することと生きることについてあらためて考えるため、アート、教育、社会、デザイン、テクノロジー、それぞれの視点を交差させながら深掘りしていくトークイベントを開催します。

登壇 菅野幸子(AIR Lab アーツ・プランナー/リサーチャー)  
片桐隆嗣(元・東北芸術工科大学教授)  
鹿野護(東北芸術工科大学 デザイン工学部映像学科教授、未来派図画工作主宰、WOW顧問)  
進行 小林大祐(一般財団法人たんぼの家/Art for Well-being事務局)

主催：文化庁、一般社団法人たんぼの家  
文化庁委託事業「令和5年度障害者等による文化芸術活動推進事業」  
協力：NPO法人エイブル・アート・ジャパン、TOHOKU CREATIVE MEETING、東北工業大学長崎智宏研究室所属高瀬祈、ビルド・フルーガス、Fab Lab SENDAI-FLAT  
※プログラムの内容は都合により変更する場合がございますのであらかじめご了承ください



Photo: AIR Lab/2024



### G ひだまりのギフト展

【時間】10:00～18:00 【会場】1階オープンスクエア

宮城県内の福祉施設が手掛ける、お菓子と雑貨を取り揃えたポップアップストアです。お茶やコーヒーにぴったりな焼菓子や、個性が光るアート雑貨など、おなかも心も満たされるアイテムが並びます。お気に入りを見つけに是非お立ち寄りください。

#### 参加団体

アート・インクルージョン(仙台市)、希望の星(仙台市)、きゅう(石巻市)、コッペ(仙台市)、多夢多夢舎中山工房(仙台市)、ふおれずとあゆみ(仙台市)、ワークスペースばぼ(仙台市)他

令和5年度「宮城県障害者芸術文化活動支援業務(運営：特定非営利活動法人エイブル・アート・ジャパン)」



### H としょかん・メディアテークによるバリアフリー資料展示

【時間】1月27日(土)、28日(日)9:30～18:00  
30日(火)、31日(水)9:30～20:00  
※1月29日(月)は2～4階休館日

【会場】2階バリアフリーカウンター

読書には、紙に印刷された文字を読むだけではなく、いろいろな楽しみ方があるのを知っていますか?せんだいメディアテークと仙台市図書館が持っているバリアフリー資料を紹介します。

主催：仙台市民図書館、せんだいメディアテーク(公益財団法人仙台市市民文化事業団)

